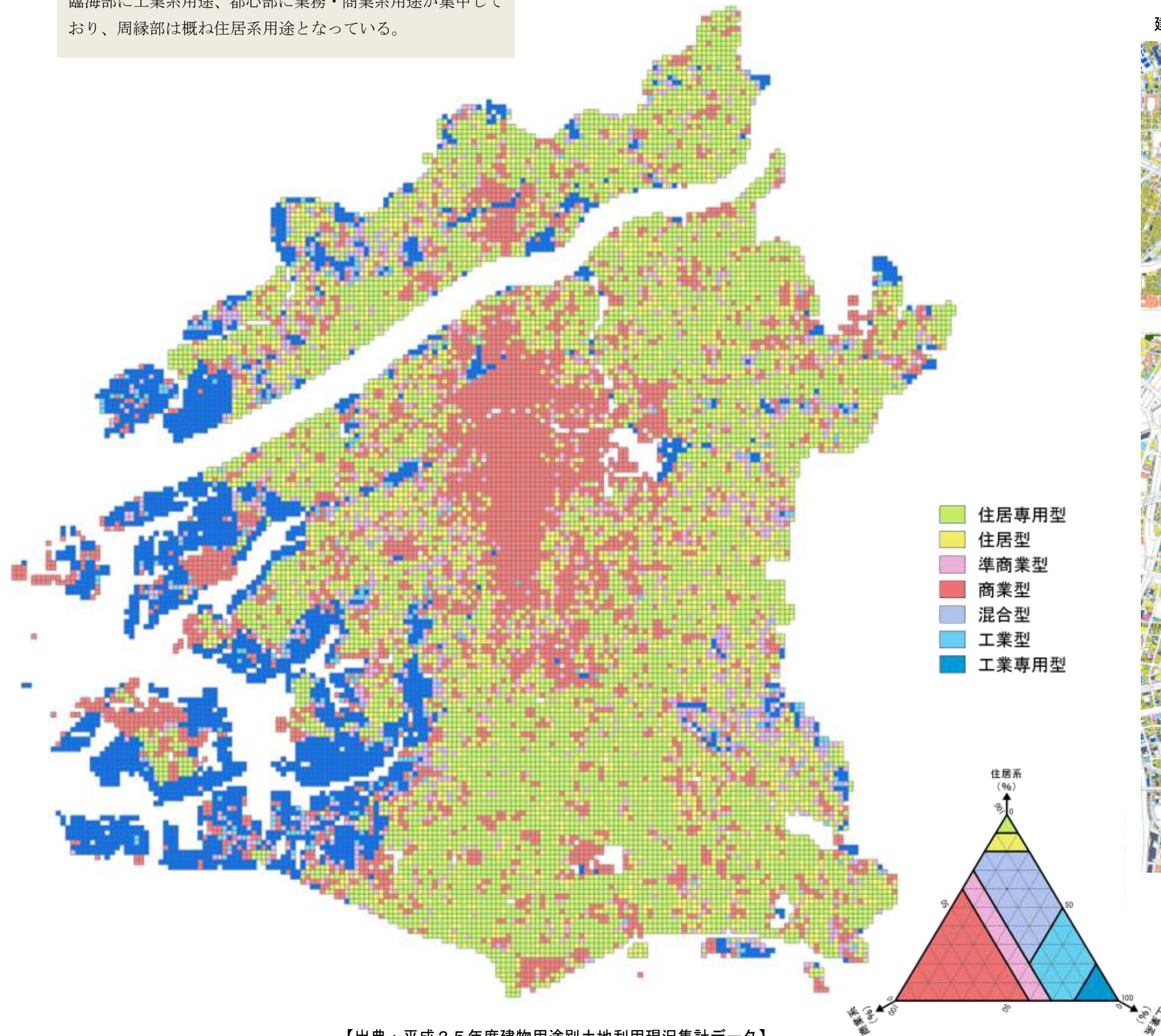


○土地利用類型

臨海部に工業系用途、都心部に業務・商業系用途が集中しており、周縁部は概ね住居系用途となっている。



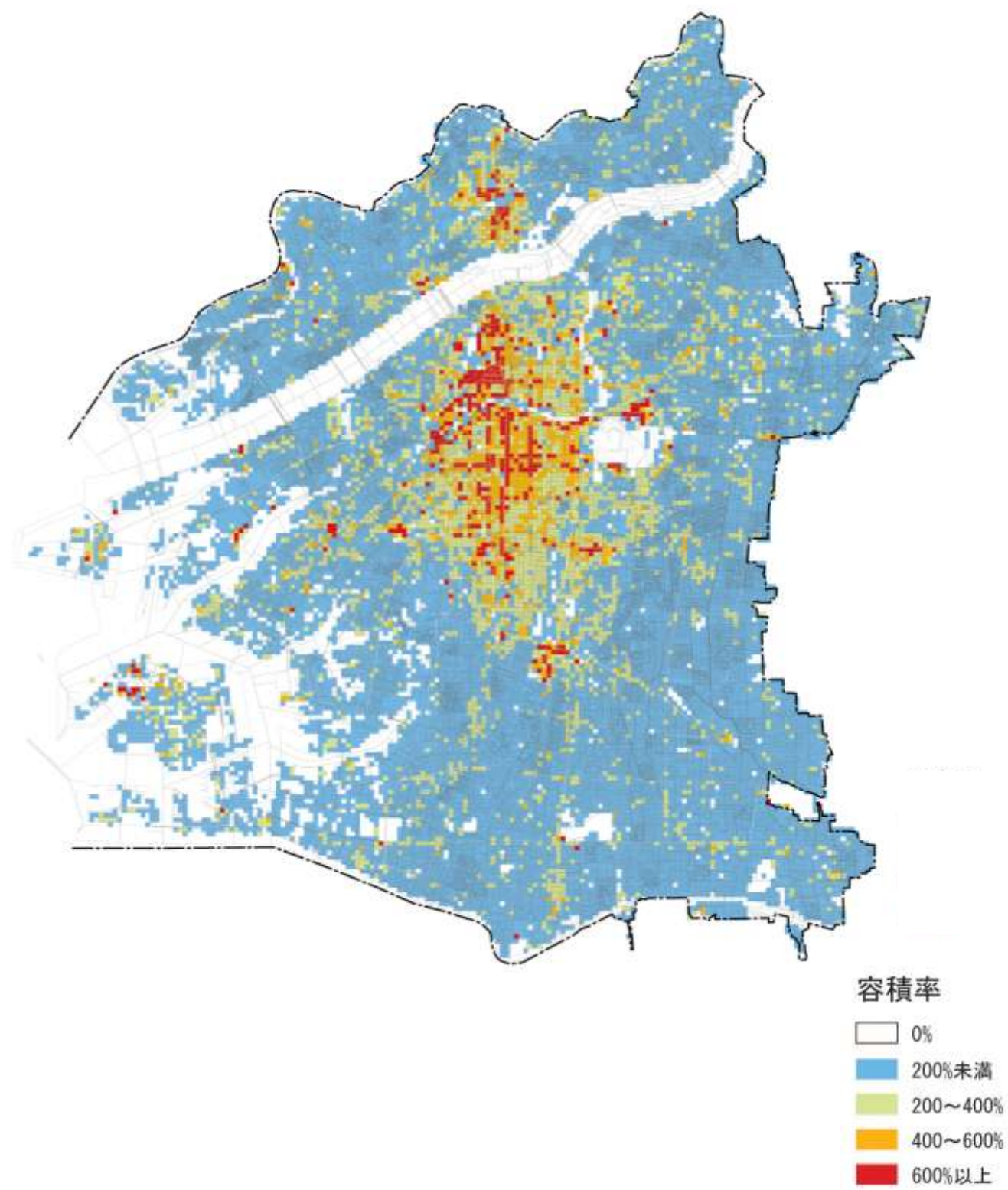
【出典：平成25年度建物用途別土地利用現況集計データ】

建物用途別（主用途）現況図



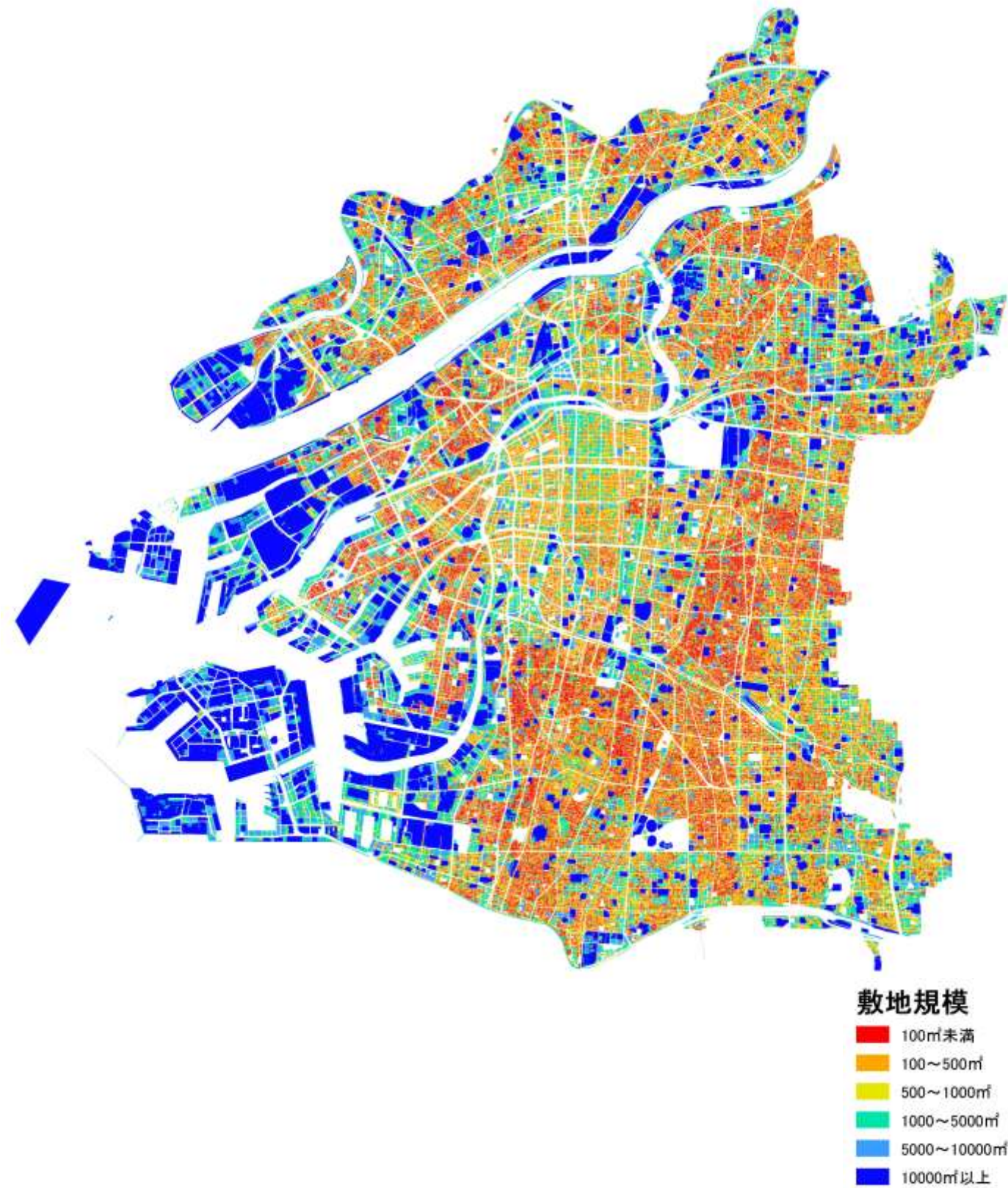
○容積率

実容積は指定容積を反映した状況となっており、都心部の業務・商業系用途が集中するエリアの容積率が高くなっている。



○敷地規模

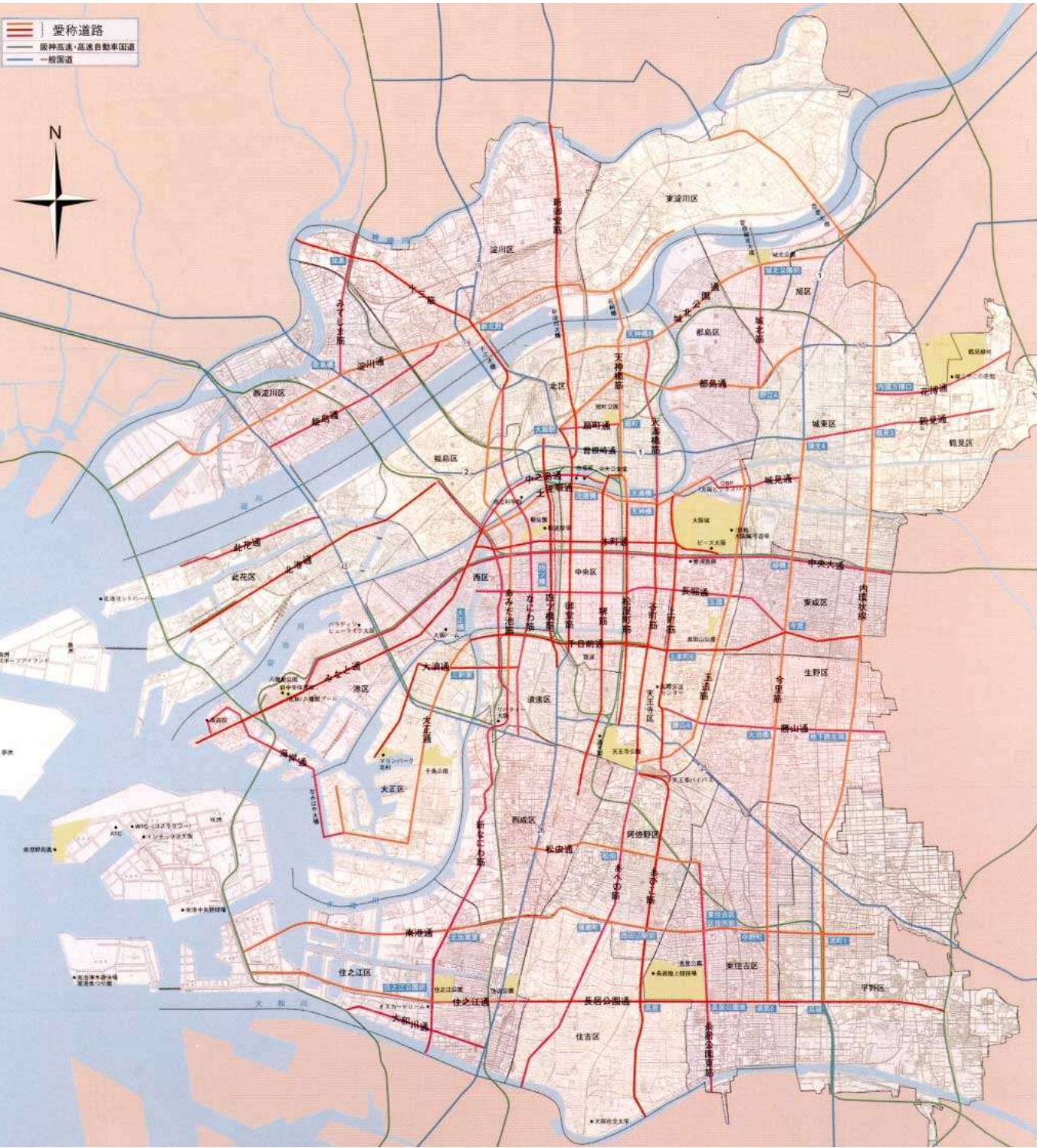
- ・臨海部は敷地面積が 10,000 m²を超える大きいものが多い。
- ・内陸は敷地面積が小さいものが多く、南東部では、敷地面積が 100 m²未満となっているものが多い。



【出典：平成 2 5 年度建物用途別土地利用現況集計データ】

○幹線道路

幹線道路として、一般市民の方に親しまれ、愛称で呼ばれている、以下ものが挙げられる。(47 路線)



【出典：愛称道路マップ】

○みどりのネットワーク

・大阪市では、みどりの風促進区域、東西南北のグリッド状の道路構造及びこれまで蓄積してきた街路樹等の緑を活かし、より充実させることで、市域内外につながるみどりのネットワークの形成を図っている。



【出典：新・大阪市緑の基本計画】

○河川

主な河川として下記が挙げられる。

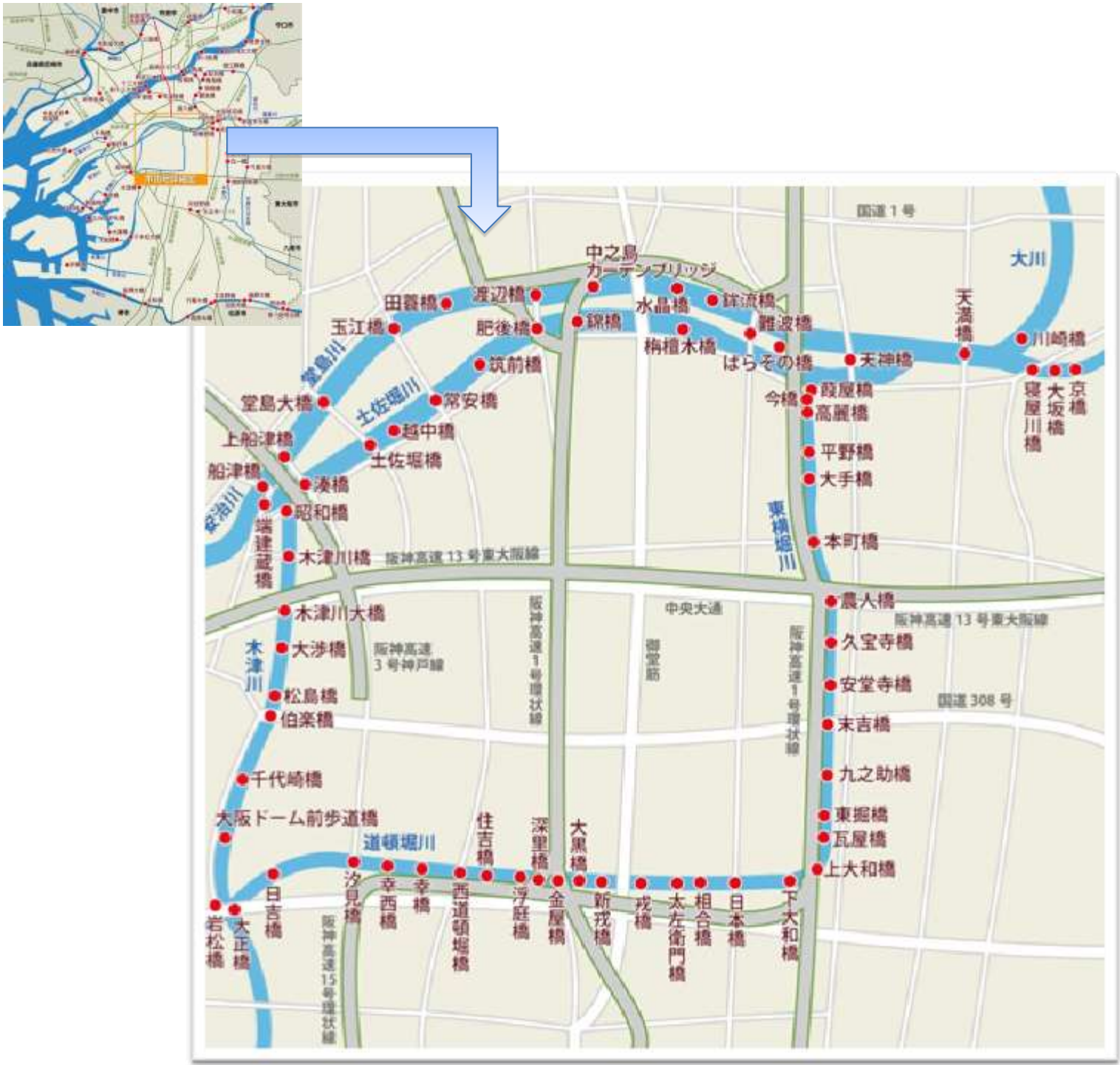
- ・淀川：大河川として、市域を2分し、広大なオープンスペースとして、パノラマティックな空間を形成。
- ・大川、安治川、尻無川、木津川（道頓堀川合流部下流）
：都市内を流れる比較的川幅の広い河川である。都市の連続を分断し、ゆとりのある空間をつくる。
- ・堂島川、土佐堀川、東横堀川、木津川（道頓堀川合流部上流）、道頓堀川
：都心部を流れる河川であり、比較的、水面と人が近く、建物等も沿川に寄り添うことが多い。
各河川には橋が数多く架けられており、視点場となっている。



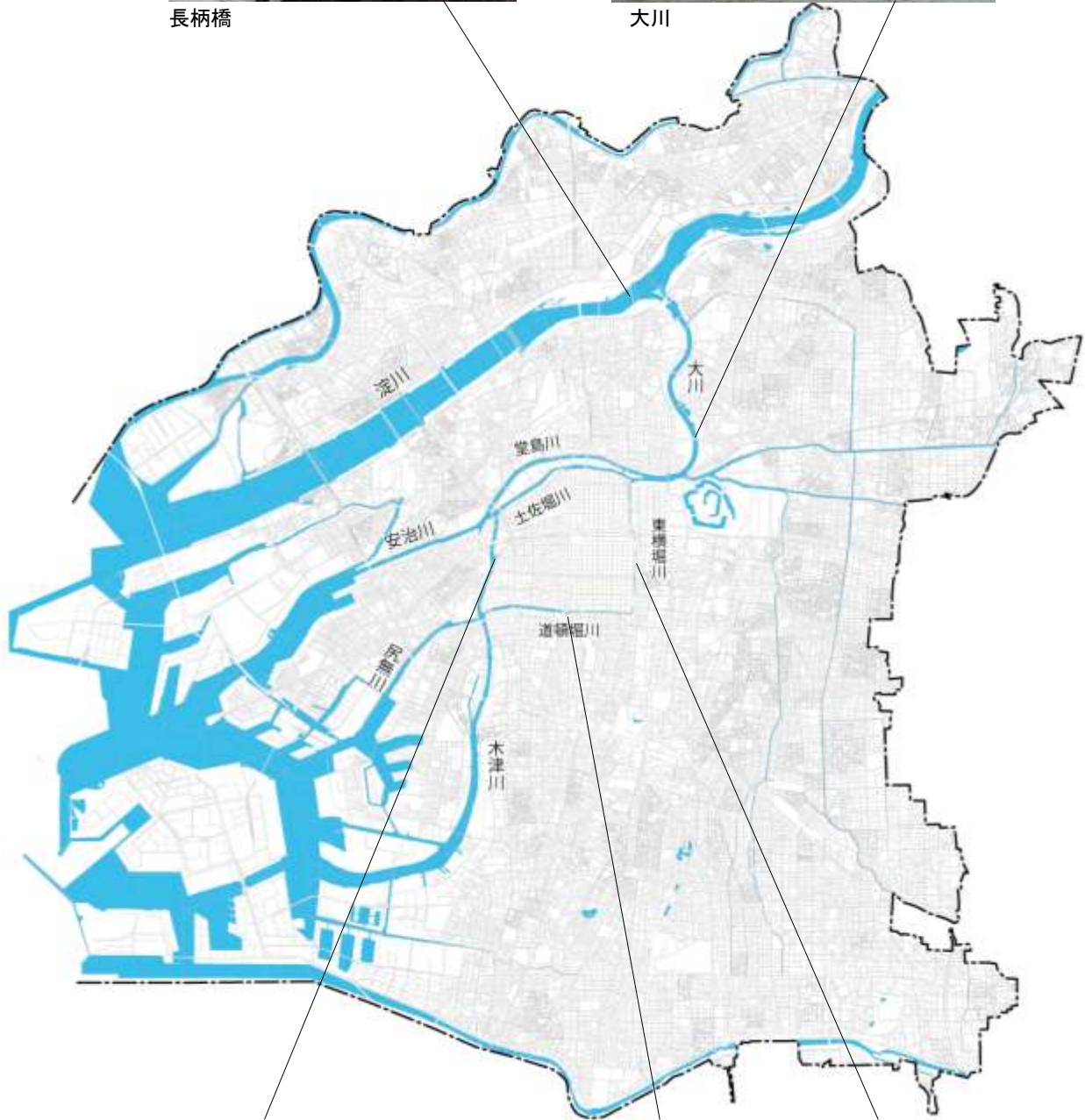
長柄橋



大川



【出典：橋の紹介（建設局が管理する代表的な125橋）】



木津川



道頓堀川



東横堀川

【出典：平成25年度建物用途別土地利用現況集計データ】